2026 年度　第 1 回「企業経営委員会」報告書

日　　時	2026 年 4 月 14 日（火）16 時 00 分～17 時 30 分
場　　所	神情協事務局会議室
出 席 者	（敬称略：順不同）会議室参加：前山、守屋、高橋、萩原、石村、佐藤、崎濱、江部、小林、内堀、比留川、田村、中山、米山、今井、佐野、岩瀬、中野、黒岩、鈴木貴司、野村、べ、シリル、杉村、依田、三上　事務局（文責）：色川

4 月経営者勉強会は、株式会社アイネックス 比留川様より発表。

次回の発表　（7 月 7 日）　株式会社悟空テクノロジーズ　佐野様

1. 協会活動予定の確認
2. 第 79 回ビジネスフォーラム (2 月 19 日)の実施報告

   発表企業 8 社、参加者 80 名。札幌商工会議所をゲストに招待したが、大雪の影響で参加者が半減となった。

   今後、札幌や愛知との共催・交流の可能性についても前向きに検討していく事とした。
3. 若手経営研究会セミナー (2 月 18 日)の実施報告

   テーマは「経営 3 年目の壁をどう乗り越えるか」。

   会場 20 名、ウェビナー20 名が参加。板橋会長などがパネリストとして登壇し、活発な議論が行われた。

4.経営者座談会 (3 月 5 日)の実施報告

   テーマは「AI 時代における新入社員のアサイン機会の創出」。14 名が参加。

   新人のスキルセット（開発 vs AI）や、神情協内で会社の枠を超えたチームでの案件アサインといったアイデアが議論された。企画者の内堀氏に対し、このテーマに関心のある企業で分科会や小規模なミーティングを立ち上げて具体化を進めることが提案さた。
5. 第 80 回ビジネスフォーラム (4 月 16 日)について

   JET との共催で、発表は 6 社（KIA4 社、JET2 社）。参加申込者数（KIA57 名、JIET33 名）が例年より少ない状況。

   当日運営の役割分担などを決めた。
6. 40 周年記念イベントの準備 (8 月 4 日)について

   企業経営委員会は、イベント当日の会場巡回警備を担当することが決定。

   目的は、トラブル対応、会場整理、無関係者の侵入防止などとなる。運営協力者として 8 名の人員が必要となり、会議の場で 9 名の協力者が決定した。
7. 中止となったセミナーと今後のテーマ案について

   予定されていた経営者戦略フォーラムは、講師の都合により中止となった。代替案として、今後のセミナーで取り上げてほしいテーマについて参加者から意見を募り、以下のような多様なテーマが提案された。

   経営戦略: 円安下での経営、SES からの脱却、会社の資産形成、今後の市場拡大、

   人材・組織: 若手・未経験者の教育育成、取締役の育成、評価制度、マネジメント層の動機付け、離職率低下策、

育児・介護と仕事の両立支援、事業承継後の人的トラブル、AI 関連: 経営戦略への AI 活用、
AI 時代におけるジュニア層の育成方法
営業・業務: SES 業界の将来性、各社が重視する KPI、社員のモチベーション向上策など

8. 外部団体との連携: 静岡県ソフトウェア事業協同組合から、ビジネスフォーラムへのゲスト参加や商談会連携の可能性について提案があった。まずは７月のフォーラムへの参加を打診する事とした。

次回委員会は７月７日（火）の開催を確認し、終了した。

以上

一般社団法人　神奈川県情報サービス産業協会